

平成27年度における各協力団体の食育への取組状況

1 青森県小学校長会

活 動 内 容	
<p>県下10の地区における全般的な取組</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校における「食育の全体計画」の整備・見直しに努めている。 2 教科、総合的な学習の時間、特別活動(学校給食の時間)等、教育活動全体を通して食育の推進に努めている。 3 専門的知識を持つ栄養教諭、学校栄養職員、調理員、生産者等をゲストティーチャーに迎えた授業を行い、食の指導に生かしている。 4 学校保健委員会の活動に活かし、児童のみならず、教職員、保護者、地域の方々と共に、食について考える機会の設定に努めている。 <p>※ 各協力団体がブースを出し、食育イベントを大々的に開催する際に、栄養教諭、学校栄養職員もブースを出し、給食の紹介や食育のクイズやゲーム等をしている地区がある。</p>	
今後重点的に取り組みたい事項の例	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの健康課題への取組として、食育の正確上、家庭との連携は欠かせない。養護教諭と連携して、個別指導に取り組んでいる地区がある。 2 栄養教諭、学校栄養職員をゲストティーチャーに迎えた出前授業を一部の学年ではなく、全学年での実施を掲げている地区がある。
取組の具体的な手法や特徴的なことの例	<ol style="list-style-type: none"> 1 全小学校において、栄養教諭を活用した授業を実施している地区がある。 2 PTAが中心となって、栄養教諭や学校栄養職員をゲストティーチャーに迎え、保護者向けの食育に取り組んでいる地区がある。(講話、調理実習等) 3 参観日の機会を利用して、栄養教諭、学校栄養職員をゲストティーチャーに迎え講演をした地区がある。 4 学校栄養職員の活用が重視され、かなりの学校で、学校保健委員会や学級活動(保健、家庭)での活用が見られている地区がある。

2 青森県中学校長会

活 動 内 容
<ol style="list-style-type: none"> 1 「家庭科」「保健体育」の授業で、学習のねらいを達成できるようにしている。 2 生徒会の保健委員会の活動を効果的に展開し、保健委員だけでなく、全校生徒に健康と食の関係を理解させている。(県産食品の紹介をしている。) 3 学校と家庭が連携し、家庭において日本の伝統的な食文化や郷土食のよさを再認識できるよう努めている。 4 学校給食等をとおして、食の大切さを学ばせている。 (学校給食センターからの「月ごとのメニュー」「給食だより」「お知らせ」の活用など)

3 青森県高等学校長協会

活 動 内 容	
<p>これまでの取組を継続させるとともに、さらなる充実に努めている。高等学校においては、学校の教育活動全体を通して行われるものであるが、特に男女必修科目「家庭科」においては、以下のとおり、生活全体の中での食生活の営みという視点を持って指導に努めている。</p>	
<p>①生涯を見通した食生活を営む力を育むため、ライフステージごとの食生活について考える機会を作っている。</p>	
<p>②栄養、食品、調理及び食品衛生などについて科学的に理解させる実験・実習を用いた体験的な授業を行っている。</p>	
<p>③安全と環境に配慮し主体的に食生活を営む力を身に付けさせるようにしている。</p>	
<p>④「自分で食事を作る」「お弁当の日」など、食材を意識させる機会を設けている。</p>	
<p>⑤食生活上の課題を把握し、それらを解決するために学校家庭クラブ活用やホームプロジェクトを利用し、食育に関する実践的活動に積極的に関わるよう指導している。</p>	
<p>食に関する専門科目においては、以下のとおり我が国の食を取り巻く環境の変化や食生活の多様化、国民の健康増進の重要性を考えた、食育の推進を図っている。</p>	
<p>①食生活が健康に影響することについて、資料や外部講師を活用し、国民健康・栄養調査、朝食の欠食、栄養の偏り、食習慣の乱れ、脂質の過剰摂取、野菜の摂取不足などの実態や生活習慣病が増加していることなどの、具体的に考える機会を通じて、食生活の改善に主体的に取り組む力を身に付けさせるよう授業を行っている。</p>	
<p>②地域の実態を把握し、保育所や幼稚園等、小学校・中学校、特別支援学校、地域における社会教育団体やNPO(特定非営利活動法人)、企業や事業所などの各種団体等と積極的に連携して活動する機会を設けている。</p>	

4 青森県特別支援学校校長会

活 動 内 容	
<p>青森県特別支援学校校長会としての事業等は行っていないが、会員それぞれが各校の学校経営において食に関する指導を進めるよう努め、次のように、幼児児童生徒の障害等に応じた食に関する取組を行っている。(各校の主な取組を集約)</p>	
<p>授業における取組 研究会としての取組</p>	<p>1 幼児児童生徒を対象とした栄養教諭による授業、栄養士や外部講師による講話等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養と食事のバランス ・生活習慣病について ・現場実習中のバランス良い食べ方、昼食選び ・給食献立について ・食育講話(寄宿舎生) ・弁当作り ・作業学習で栽培した農作物の食品加工 ・肥満児童生徒への食事調査及び個別指導 ・減塩でおいしい健康生活～望ましい生活習慣～ ・厨房探険 ・学校給食習慣でのミニ講話 <p>2 保護者を対象とした講習会等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスを考えた弁当作り ・給食試食会 ・料理講習会(バーベキュー、流しそうめん、太巻きづくり等) ・ムリをしない減塩のヒント ・朝食の大切さ ・給食レシピの提供や携帯食調理法の指導 ・野菜たっぷりをテーマにした講話と実演 ・生活習慣病予防のための食生活 ・乳幼児期の食事(教育相談時に実施) <p>3 職員を対象とした講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食と食事指導 ・生活習慣病の予防

イベント的取組	1 食品を選択する力や食事のマナー・社会性等の育成、給食や食事をする事への興味・関心の高まりや心身の健康等を期待して取り組む活動 ・バイキング給食 ・リクエスト給食 ・他県の名物料理の給食 ・テーブルマナー教室 ・地域との給食交流 ・野菜に関するクイズ ・個に応じた特別給食(アレルギー・偏食対応) 2 地場産物への関心や食文化の伝承などに係る内容を期待して取り組む活動 ・郷土料理の給食 ・もちつき体験 ・ふるさと産品給食の日(レプリカ展示とスペシャルクイズ) ・郷土料理教室(そば打ち体験・芋餅作り等) ・給食献立への地産地消情報の掲載 ・県産食材の活用、県産米の食べ比べ ・総合的な学習の時間での活動 (地元の特産物を調査 ・田植、収穫、まとめ、発展)
その他の取組	1 学校菜園での野菜栽培と給食への活用、調理実習の実施 2 食育に関する情報提供 食育ポスターの展示、「給食だより」「食育だより」「保健だより」「学級通信」等の発行 校内放送やラジオ番組による献立等の紹介 校内放送で県産食材、食材の歴史、由来、栄養などを紹介 給食で使われている食材や珍しい食材等の展示 3 学校給食献立コンクール等への参加、「給食がんばり賞」の取組 4 寄宿舎と連携した取組 ・舎食、外食経験等による食の知識等の向上、おやつ作り ・食に関する学習会の実施(食物の働き、おやつのとおり方) ・生活体験(調理体験)での献立作成アドバイス 5 地域との連携 ・もちつき会の開催 ・地域の水田や人材を活用した米作り学習 6 食に関する全体計画の策定

5 青森県学校保健会

活 動 内 容	
1 健やか青森っ子プラン「健やか青森っ子生活習慣病防止対策」の実施 2 「青森県学校保健・安全・給食研究大会」の開催 ○期日:平成27年11月11日(水) ○会場:弘前市総合学習センター 3 学校保健関係団体が行う健康教育に対する支援	
取組の具体的手法や特徴的なこと	県教育委員会、郡市学校保健会及び学校保健関係団体等と連携し、幼児、児童生徒の心身の健康の保持増進と健康課題を解決するため、健康教育としての食育を推進。
今後取り組みたい事項	これまで同様、健康教育の中で総合的に取り組むとともに、学校保健関係団体が行う食育に関して積極的に支援する。

6 青森県PTA連合会

事業名	食育活動助成事業
期 日	平成27年6月～平成28年3月
連携団体	県内各所
活動内容・参加者等	PTAが行う食育活動に対して、(公財)青森県学校給食会から経費の助成を受け、親子料理教室やファミリー料理教室を実施している。 参加者は、PTA会員及び児童生徒である。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	(公財)青森県学校給食会と連携した事業の推進

7 公益財団法人 青森県学校給食会

活 動 内 容	
1	<p>学校給食に「生きた教材」として、本県で生産された農畜産物及び水産物を年間を通して安定的に供給できるよう、県農林水産部、農協、漁協等の協力、支援を頂き、地場産物の商品の開発・加工に取り組んでいる。</p> <p>平成27年度の県産冷凍カット野菜は、引き続き、「ほうれん草」、「小松菜」等の加工を行い、供給を行った。</p> <p>また、県産水産物の開発加工品は、「イカ」、「イワシ」、「サケ」の開発に引き続き、「トビウオ」の加工品を開発し供給を行ったほか、畜産加工品として「青森シャモロック」の加工品を開発し供給を行った。</p> <p>更に、県産食材の利用率向上を図るため、地場産物加工品を製造できる県内工場の開拓等に取り組む、県農林水産部が実施している「味感を育む『だし活』事業」に参加し、県内工場の協力を頂き、青森県産食材を使用した学校給食向け「だし商品」の開発を行い、「だし」を活かした減塩の推進に努めている。</p>
2	<p>学校給食用小麦粉パンについては、平成25年度より主原料を県産小麦ゆきちから50%、外国産小麦50%として供給している。</p> <p>また、平成26年10月より新たな多様化パンとして、地場産物の消費拡大の観点から県産雪にんじんペーストを25%混入し、かつ乳アレルギーに対応した雪にんじんパンの供給を開始している。</p> <p>県産小麦ゆきちからについては、作付面積が増加し、学校給食で安定的に供給できる収量が見込まれることから、県産小麦ゆきちからを100%使用し、更に食塩を減量とした新たな配合の小麦粉パンと雪にんじんパンの商品開発に取り組み、平成28年度から供給を開始することとしている。</p>
3	<p>学校給食用米粉パンについては、平成23年度から県産小麦ゆきちからと県産米粉を原料とした県産品100%の米粉パンの供給を行っている。</p>
4	<p>学校給食用米穀の需要拡大の取組みとして、県内における米飯給食実施平均回数が週3.18回(平成26年度)と全国平均の週3.40回(平成26年度)を下回っていることから全農あおもり、県農林水産部とともに実施回数週3回の市部の教育委員会に対し実施回数の増加について働きかけを行っている。</p> <p>また、2014年産米食味ランキングで青森県産米初の最高評価「特A」を獲得した「青天の霹靂」を県内の児童生徒に味わって頂くこととし、青森県産米需要拡大推進本部の協力を頂き、11月9日から30日までの間、米飯給食を実施している県内35市町村421校、県立特別支援学校等15校、国立大学附属小学校・特別支援学校2校の学校給食に提供した。</p>
5	<p>学校給食に関する食育活動の一環として、フードモデル(農水産物36種類)を指導教材として作成し、学校・食育関係団体等に貸出を行っている。</p>
6	<p>子どもたちが青森県で生産、漁獲される主要農水産物について理解を深めるようわかりやすく解説した「青森県産農林水産物(地産地消)カレンダー」を青森県農林水産部、青森県教育委員会の協力を</p>

<p>得て作成し、青森県内学校給食実施校の全学級に配付した。</p> <p>7 青森県PTA連合会と連携して、県内の郡市連合PTA及び単位PTA活動の「食育推進事業」に対して、経費の一部を助成する事業を行っている。</p> <p>8 地場産品を活用した食に関する指導の充実を図るため、青森県学校給食献立コンクールを青森県教育委員会等と共催で実施し、食育推進の支援を行った。</p> <p>また、コンクール作品が今後の学校給食の献立として活用されるよう商品開発を行った。</p>	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<p>青森県PTA連合会、青森県学校給食センター連絡協議会及び青森県学校栄養士協議会との連携を図り、食育の普及啓発を効果的に行いたい。</p> <p>また、生産者団体等の協力を得て、地産地消の商品開発に努めたい。</p>

8 青森県学校給食センター連絡協議会

活 動 内 容	
<p>学校給食センターの運営を円滑に推進するために、食育及び地産地消に関する研修会等を開催し、食育事業に取り組んできた。</p>	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<p>学校給食関係団体と連携して、食育事業を支援していきたい。</p>

9 青森県養護教員会

活 動 内 容	
<p>1 会員各自が、勤務校において、地域・家庭・関係機関と連携をとりながら、食育に関する内容に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養教諭や学校栄養職員と協力して学級における「食」に関する指導を実施 ○ 学校保健委員会で「食」について取り上げ、健康な体づくりについて地域や家庭と考える場を設定 ○ 食物アレルギーについて校内の職員を対象にした研修の実施 ○ 歯・口の健康に関連した「食」についての指導の実施 ○ 参観日に栄養教諭を招き保護者に「食」に関する講話や情報交換を企画し実施など <p>2 県または各郡市において、研修会や情報交換の場で、児童生徒の健康課題の改善のために、「食育」に関する実践の紹介や研修を行い、資質向上を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 専門家や栄養教諭による「子どもの健康を守る生き方、食べ方」に関する研修会を実施など 	
取り組みの具体的な手法や特徴的なこと	<p>栄養教諭や学校栄養職員が配置されていない学校に勤務する場合もあり、校務分掌の中で、「食育」や「給食」に携わる場合が多い。</p> <p>そのため、自校の健康課題を見据え、多岐にわたる「食」に関する内容の中でも、今自分の学校の児童生徒には何が必要かを考えて、関係職員と計画を立案し、最優先課題を意識的に盛り込んでいける利点がある。</p> <p>今後も、「児童生徒へのヘルスプロモーション」を常に念頭に置きながら、自校の職員や家庭、関係機関と手を携えて、「食育」に取り組んでいく。</p>

10 青森県学校栄養士協議会

活 動 内 容	
<p>1 毎年6月・11月に「ふるさと産品給食の日」と名付け、県産品や地域の産品を多く取り入れた給食を実施している。</p> <p>2 県スポーツ健康課のあおり型給食促進事業を受けて、5つのコンセプトである、「塩分控えめ・野菜たっぷり・あぶらほどよく・ごはんしっかり・青森に感謝」に沿った献立を作成し実施している。</p> <p>3 「すこやか食生活大作戦」と題し、生活習慣病予防の研究会を立ち上げ、今年で3年目を迎えている。肥満の出現率が高い青森県の児童生徒に対し、肥満解消に向けて取り組んでいる。</p> <p>4 食の指導として、給食時間の一言指導や家庭科や保健体育の時間に、バランスのとれた食事のとり方や、健康的な生活の過ごし方の指導を行っている。 また、勤務校や他校の学校保健委員会では養護教諭と連携し、健康的な食生活を送るための助言を行っている。</p> <p>5 児童生徒に喜ばれる給食を目指し、料理人を講師として調理講習会を開催し、会員の資質の向上に努めている。会員が講師となり、勤務校や他校の保護者に対し、家庭の食生活の改善のため、調理講習会を行っている。</p>	
取り組みの具体的手法や特徴的なこと	<p>1 「ふるさと産品給食の日」に実施した献立について、写真付きの冊子を作成し、関係各所に配付する。</p> <p>2 あおり型給食の普及については、県総合販売戦略課で開発したできるだけを使った減塩料理や野菜をたっぷり使っておいしい料理などを、調理講習会で保護者に伝達する。</p> <p>3 「すこやか食生活大作戦」の研究成果については、冊子にまとめ関係各所に配付する。</p>
今後重点的に取り組みたい事項の例	<p>1 児童生徒の肥満の解消については、改善に向けて効果を上げる方策を研究実践していきたい。</p> <p>2 食の指導については、県内広範囲に実践できるように努めていきたい。</p>

1 1 特定非営利活動法人 青森県消費者協会

活 動 内 容	
<p>1 食育活動の継続 (1)食の安全・安心推進事業 (2)地産地消推進事業・県産食材利用推進事業</p> <p>2 重点的な取組内容</p>	
事業名 ①	食の安全・安心推進事業（4回）
期 日	平成27年4月～平成28年3月
場 所	青森市・五所川原市
活動内容・参加者等	<p>食の安全・安心の推進について専門家を招き、講演会、フォーラム、研修会、学習会・料理講習会等を開催</p> <p>■10月27日(火) 消費者市民社会活性化ブロックフォーラム 「つがる西北五から始まる消費者市民社会～ともに学び、かしこい消費者になろう～」 講師:独立行政法人国民生活センター 前教育研修部長 千塚 明 氏 会場:五所川原市中央公民館</p> <p>■2月5日(金) 「食の安全・安心に関するリスクコミュニケーション」 テーマ「健康につながる県産野菜の魅力と可能性について」 講師:野菜ソムリエ 上明戸 華恵 氏 青森県、青森県消費者協会 主催</p> <p>■2月14日(日) 「あおもり食命人シンポジウム」参加 場所:リンクモア平安閣市民センター</p> <p>■2月26日(金) 「セミナー・de・だし活&サロン・de・だし活」参加 「だしに関する研究成果等について」 講師:(株)にんべん研究開発部 荻野目 望 氏 「消費者目線で考える商品開発について」 講師:(有)良品工房 白田 典子 氏 「「共創マーケティング」に立脚したモノ創り～消費者の徹底分析から「だし」を読み解く」 講師:(株)オレンジページ常務取締役 姜 明子 氏 会場:青森国際ホテル「萬葉の間」</p>
事業名 ②	地産地消推進事業・県産食材利用推進事業（9回）
期 日	平成27年4月～平成28年3月
場 所	青森市・八戸市
活動内容・参加者等	<p>県産品に親しみ、利用拡大するためのフォーラム、料理講習会、バスツアー等を実施。</p> <p>■6月5日(金) 「だし活・減塩・地産地消」調理実習 講師:青森市消費者の会会長 大森 頼子氏 会場:県民福祉プラザ5F調理実習室</p> <p>■7月22日(水) 「平成27年度 消費生活大学講座第3回 つくる、食べる、生きる～わたしが思う青森の食」</p>

	<p>講師:あおもり食命人・21世紀型集会所(indriya) 大西 晶子 氏 会場:県民福祉プラザ 県民ホール</p> <p>■7月31日(木) 「エネルギー&海の恵みバスツアーin八戸」 八食センター、八戸市第3魚市場、ハチカン工場見学及び商品購入</p> <p>■10月3日(土) 「あおもり米ファン感謝祭2015」参加 会場:ホテル青森3階「孔雀の間」 県、青森県産米需要拡大推進本部主催</p> <p>■10月28日(水) 「あおもりエコ農産物セミナー」参加 テーマ「食の安全・地産地消」 講師:あぐりショップ「ぶんべい」 佐藤 範子 氏 南風農園 小野 浩司 氏、(有)ゆめりんご 佐藤 正則 氏 十和田おいらせ農業協同組合 指導やさい部野菜販売課長 斗澤 康弘 氏 会場:県民福祉プラザ 大研修室 県食の安全・安心推進課 環境農業グループ主催</p> <p>■11月11日(水) 「第51回青森県消費者大会」 食の安全・安心及び県産食材利用推進のため、青森県すこやか福祉事業団他、26 団体から出展 会場:県民福祉プラザ4F大・中研修室</p> <p>■11月23日(月) 「和食文化を“伝える・広げる”～あおもり食命人の食・京のだし～」参加 講師:一般社団法人和食文化国民会議会長代行・同普及啓発部会長 伏木 亨 氏 パネリスト:日本料理「百代」 料理長 浪内 通 氏 京料理「木乃婦」三代目主人 高橋 拓児 氏</p> <p>■1月13日(水) 「平成27年度攻めの農林水産業推進大会」参加 テーマ「グローバル経済を勝ち抜く「攻めの農林水産業」」 講師:農林水産省顧問 皆川 芳嗣 氏 会場:青森国際ホテル「芙蓉の間」</p> <p>■1月25日(月) 「食肉セミナー 食中毒死者の多くは家庭が原因～台所から始める、食中毒予防～」 講師:一般社団法人青森県薬剤師会衛生検査センター所長 川村 仁 氏 会場:アップルパレス「ねぶたの間」 青森県食肉生活衛生同業組合主催、青森県消費者協会共催</p>
事業名 ③	食品ロス削減推進事業（1回）
期 日	平成27年4月～平成28年3月
場 所	青森市
活動内容・ 参加者等	<p>食品ロス削減を目的とした講演会、料理講習会の開催</p> <p>■11月4日(水) 「食品廃棄物削減・リサイクル推進セミナー(3回)」参加 講師:エム・アイ・リサーチアソシエイツ(株)リサーチコンサルタント 山村 桃子 氏 会場:アラスカ4階 ダイヤモンドの間</p>

12 青森県食生活改善推進員連絡協議会

活 動 内 容	
1	おやこの食育教室 食べ物に感謝する気持ちを育み、マナーやバランスの良い食べ方、調理の仕方を学ぶ。
2	男性料理講習会 生活習慣病予防や減塩、食育をテーマに調理実習、講話、健康相談を実施。
3	高齢者の低栄養、ロコモ予防教室 “延ばそう健康寿命”をテーマに、高齢期の食事の調理講習会・講話を開催
4	食育推進事業 地域住民、一般成人、中高生を対象に、望ましい食習慣、知識などを普及啓発。
5	エコ料理講習会(県委託) 生ごみ減量、食品ロス削減講習、エコ料理実習。
6	ヘルシーあおもり健活メニュー普及事業 若年男女を対象に、カルシウム、鉄、野菜などの摂取不足を解消し、望ましい食事の普及と生活習慣病の予防を図る。
7	だし活事業(県委託) 県産品のだし商品の良さを理解し、今後の活用につなげ、又、減塩普及啓発につなげる。
8	食事バランスガイド推進事業 食事バランスガイドの普及浸透を図るために、調理実習・講話・伝達調理を実施
9	地域をつなぐ、世代をつなぐ事業 世代をこえて、地域ぐるみで健康づくりに取り組み、“減塩と野菜あと一皿”を普及啓発
事業名 ①	エコ料理講習会(県委託)
期 日	平成27年8月～11月
場 所	県内6地区の会場
活動内容・参加者等	ヘルスマイト及び一般県民を対象に、平成26年度に県が作成した“エコ料理レシピ集”を活用しての調理講習会と講話を実施。
事業名 ②	家庭の味噌汁の塩分調査
期 日	通年
場 所	県内全域
活動内容・参加者等	減塩と高血圧予防を目的に、県内全域で実施。各家庭を訪問し、塩分測定器を使用して、みそ汁の塩分濃度を測定。県内5,000軒目標。
事業名 ③	健活普及事業…研修会(県委託)
期 日	通年
場 所	県内6地区の会場
活動内容・参加者等	10代後半から30代の若い世代に、望ましい食事の普及と生活習慣病の予防をはかる目的の調理実習と講話。
事業名 ④	健活メニュー普及事業…イベント(県委託)
期 日	通年
場 所	県内10か所
活動内容・参加者等	イベントなどに参加している人を対象に、試食提供によるメニューの普及とアンケート調査の実施・回収・集計をする。
事業名 ⑤	味感を育む「だし活」事業(県委託)
期 日	平成27年9月～平成27年11月まで
場 所	県内各量販店(保健所管内12か所)
活動内容・参加者等	県内の大手スーパーに交渉して、来店者に県産素材を使用した“だし”の試飲提供。県産だしのよさを理解してもらい、今後の活用(減塩)につなげる。
事業名 ⑥	味感を育む「だし活サロン」事業(県委託)

期 日	平成27年7月～平成28年1月
場 所	県内40市町村実施(保健所他)
活動内容・ 参加者等	3才児健診に同行した保護者、小学校の保護者などを対象に、“できるだし”を使用した試食を提供し、だし活の周知を行う。子供のころからのうす味の定着、保護者には、だしで減塩することを理解してもらう。

13 青森県生活協同組合連合会

活 動 内 容	
1 食育活動の継続	
(1) 産地交流、夏休みメーカー見学、農作業体験、収穫体験	
(2) 親子でクッキング、コープで離乳食、漬け物作りなどの開催	
(3) 田植え・稲刈り体験(食育クイズ実施) 2か所の保育所から園児が参加	
(4) 児童館で小学生を対象に健康チェックと料理教室	
(5) 食の安全に関する学習や出前講座の推進	
2 重点的な取組内容	
事業名 ①	海の勉強会(うみべん)協賛
期 日	(1)平成27年7月5日(日)
場 所	青森ウォーターフロント内
活動内容・ 参加者等	放流魚、アマモの勉強会、ワークショップ体験 簡単な食育クイズ
期 日	(2)平成27年8月9日(日)
場 所	平内町茂浦だいすき海岸
活動内容・ 参加者等	地引網を引いてみよう 海の中をのぞいてみよう スイカ割大会 (対象者(1)、(2)とも小学校4年、5年、6年と保護者)
事業名 ②	生協ふれあいの森 植樹祭の実施
期 日	①平成27年5月17日(日)、②平成27年6月7日(日)
場 所	県内2か所 (①青森市眺望山「自然休養林」、②十和田市仙人平「蔦の森」)
活動内容・ 参加者等	(1)牛乳パック回収運動で得た収益金で「ヒバ」と「ブナ」の苗木を購入し、青森森林管理署と三八上北森林管理署から借り受けた国有林に植樹。 (2)両管理署のご協力で、山と食の関係、山と海の関係、木材のことなどを学習し植樹。自然観察も実施。

14 青森県生活研究グループ連絡協議会

活 動 内 容	
各地区生活研究グループ連絡協議会が企画し、以下の取組みが実施された。	
事業名 ①	手作りの味と技を楽しむ会（鱒ヶ沢地区連）
期 日	平成27年9月10日
場 所	鱒ヶ沢町「岡山の家」
活動内容・参加者等	○地元食材を活用した家庭料理や伝統料理の調理実習(5種類)と消費者交流。 ○講師:地区連会員 ○対象:地域の料理に関心のある一般消費者(当日参加者5名) ・参加者は、各会員が地域の人に声をかけて集めているほか、会場前の掲示板にポスターを貼って通知している。
事業名 ②	食育推進応援隊～伝えたい味と技～（つがる市連）
期 日	平成27年11月27日
場 所	つがる市生涯学習交流センター「松の館」
活動内容・参加者等	○地元食材を活用した伝統料理の調理実習(5種類)と消費者交流。 ○講師:つがる市連会員 ○対象:つがる市内の伝統料理に関心のある一般消費者。参加者は、広報で呼びかけ限定30名としている。市内の各女性団体が交互に、年4回応援隊として講師を務めている。
事業名 ③	食育交流会（平賀地区連）
期 日	平成27年12月20日(日)
場 所	平川市 文化センター 調理実習室・和室
活動内容・参加者等	○参加者:一般消費者11名、生活改善グループ員4名、中南県民局地域農林水産部1名 計16名 ○内容:平川市産食材を活用した「だし活」料理及び郷土料理の実習(6品)、食育ミニ講話、消費者との交流 県連で学んだ「だし活」料理と地区連の食育活動のテーマとしている「和え物レシピ(H22作成)」の料理をメニューに取り入れて開催した。参加者募集にあたっては、「ひらかわフェスタ」で「だし活」料理を紹介しながら参加を呼びかけた。
事業名 ④	「津軽の味っこ」伝承料理講習会（弘前地区連）
期 日	平成27年12月23日(水)
場 所	弘前市 総合学習センター 調理室
活動内容・参加者等	○参加者:弘前市一般市民(60歳未満)32名、生活改善グループ員7名、中南県民局地域農林水産部1名 計40名 ○内容:郷土料理(6品)の調理実習、参加者との交流 郷土料理を若者や子どもたちの嗜好にも合うように味付けを工夫し、食の文化伝承材として伝承していくために、平成24年度から開催しており、平成26年3月には「津軽の味っこⅡ(郷土料理本)」を発行している。
事業名 ⑤	東北栄養専門学校生のための郷土料理伝承会（黒石地区連）
期 日	平成28年1月16日(土)
場 所	弘前市 東北栄養専門学校 調理室
活動内容・参加者等	○参加者:2年生32名、教師2名、生活研究グループ員13名、中南県民局地域農林水産部1名 計48名 ○内容:郷土料理(5品)の実習、意見交換

平成20年から年1回実施している(今年度で8回目)。郷土料理メニューは学校からの意見を取り入れながらグループ員が検討し、事前に技術向上研修をして伝承会に臨んでいる。

15 一般社団法人 青森県調理師会

事業名	親子料理教室
期 日	平成27年7月29日
場 所	アピオあおもり
活動内容・参加者等	小学生と親、10組、22名を対象に、県産食材を使った減塩料理の講習会を開催。
取組の具体的な手法や特徴的なこと (他団体との連携など)	県産食材を使った、減塩、油脂を控えたバランスの良い料理を講習、食事のマナーも教えます。
備 考	平成16年より毎年実施。

16 青森県料理飲食業生活衛生同業組合

事業名	ものづくりフェア
期 日	10月31日、11月1日 2日間で800名
場 所	さくら野百貨店弘前店 4F文化ホール
活動内容・参加者等	地場産品を活用した創作料理の展示。県産食材を活用し、地産地消の創作料理をテーマにした「第8回青森県日本料理コンクール」における優秀作品を展示。 かつらむき、野菜カービングの実演等

17 青森県農業協同組合中央会

事業名 ①	小学校5年生用社会科副読本「いのちはぐくむあおもりの農林水産業」の発行
期 日	平成27年4月1日発行
活動内容・参加者等	小学校5年生の社会科で学習する「わが国の産業と国土のようす」について、本県の例を参考に学習してもらうための副読本と、教師用の指導書を作成(児童用13,000部、教師用1,300部)。小学校5年生全員に配布。
事業名 ②	「ごはんお米とわたし」作文・図画コンクール
期 日	平成27年7～12月
活動内容・参加者等	毎日のごはんのおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食についての思い出や、考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してもらい、農業(特にお米やごはん食)を理解してもらうためにコンクールを実施。 ○対象: 県内全小・中学校 実施校132校 ○作文285点、図画158点
事業名 ③	「バケツ稲づくり」
期 日	平成27年4月～
活動内容・参加者等	バケツを使って稲を育てるという一連の作業をとおして、お米やごはん、稲作文化、農業、食料の大切さを理解してもらうために、「バケツ稲づくりセット」①種籾(肥料付)、②栽培マニュアルを無償配布。 ○対象: 全小学校(原則として5年生) 実施校48校 2,021セット

事業名 ④	J Aふるさと市
期 日	平成27年11月7～8日
活動内容・参加者等	JAグループ青森、青森県漁業協同組合連合会、青森県森林組合連合会、(公社)青森県物産振興協会、あおもり産品販売促進協議会主催の、「ぜ～んぶあおもり大農林水産祭」に、JAグループ青森は「JAふるさと市」として出展し、消費者に対して県産農畜産物の安全性やおいしさをPRする試食販売会や、JA・協同組合の活動を理解してもらうためのPR活動を実施した。 ○場 所： 青森市「青森産業会館」 ○出店内容： りんご(生果)、りんごジュース、ながいも、にんにく、ごぼう、かぶ、長ねぎ、白菜、ゼネラルレクラーク、漬物、スイーツなどを販売

18 青森県JA女性組織協議会

事業名 ①	農業ふれあい教室
期 日	平成27年4～12月
活動内容・参加者等	地域の子もたちに、農産物の栽培をとおして、作る楽しさと食べる喜びを感じてもらい、農業に対する理解と地産地消の啓もうを図るために、県内5JA女性部で管内小学校児童と一緒に植付けから収穫までの農業体験や、収穫した農産物を使った料理教室などを実施。県内小学生254名が参加。
事業名 ②	作文・かべ新聞コンクール
期 日	平成28年3月(予定)
活動内容・参加者等	農業ふれあい教室で農作業を体験した児童に作文・かべ新聞を書いてもらい、優秀者等を表彰。 応募作品数 作文:5小学校から19作品、かべ新聞:4小学校から7作品
事業名 ③	各JA女性部による地域に根ざした食育活動の展開
活動内容・参加者等	各JA女性部においても、食育活動の一環として、地元小学校と連携し、学校給食の食材として地場産物を納入したり、農作業や調理など、各種体験学習の受入を実施。

19 全国農業協同組合連合会青森県本部

活 動 内 容			
「JA」の活動を通して「農業」に接することにより、地元や県産農畜産物への理解・愛着を深めてもらいたいという意図のもと、小学生・園児に向けて食育活動に取り組みました。			
1 紙芝居キャラバン：やさい部やさい花き課 JAゆうき青森の調理実習と共催で、トリオ・ザ・ポンチョスのトークによる「青森いきいきやさい紙芝居」を実施しました。			
実施月日	市町村名	学校名	備 考
7月16日	東北町	甲地小学校	調理実習5年生 20名 全校児童 107名
9月14日	野辺地町	若葉小学校	調理実習6年生 39名 紙芝居全校児童 226名
11月26日	七戸町	天間東小学校	紙芝居全校児童 78名

2 校外学習：やさい部やさい花き課

JA青森あすなろ営農支援センター協力のもと、地元の小学生を対象に選果施設やほ場、直売所を視察した。

実施月日	市町村名	学校名	備 考
9月4日	青森市	堤小学校	(1) トマト選果場の視察 (2) 水稲栽培ほ場の視察 (3) 直売所の視察

3 餅つき体験・バター作り体験

幼稚園へ出張または農協会館1Fロビーでの「農畜産物即売会」や「歳末市」において、JA青森女性部の協力のもとに、子ども達を対象に餅つきやバター作り体験などの食育活動に取り組みました。

実施月日	催事名	実施場所	内容	備考
7月2日	出張実演	聖マリア幼稚園	バター作り	園児12名
7月25日	農畜産物即売会	農協会館1F	餅つき	
8月11日	〃	〃	餅つき	
9月18日	〃	〃	餅つき、バター作り	園児62名
10月16日	〃	〃	餅つき、バター作り	園児51名
12月12日	〃	〃	餅つき	
28日	歳末市	〃	餅つき	
29日	〃	〃	餅つき	

20 青森県青果卸売市場協会

事業名	親子収穫体験教室
期 日	平成27年8月9日(日)
場 所	青森市浪岡大字徳才子地区内
活動内容・参加者等	浪岡名産とうもろこし(バサラコーン)を上記圃場にて、収穫体験をした。また、JA選荷場にて、荷造り及び市場向け出荷作業を見学した。 (親子15組、44名、1家族当たり収穫本数約30本)

21 青森県水産物卸売市場協会

事業名 ①	「青森市中央卸売市場食育推進委員会」としての取組～青森地区～
事業名	夏休み親子市場体験会
期 日	平成27年7月25日
場 所	青森市中央卸売市場
活動内容 参加者等	13名(子ども7名、保護者6名)が参加し、市場内施設やせり売りを見学したほか、魚の捌き方教室、すいか食べ比べなどを行った。
事業名 ②	小中学校への食育・花育活動～青森地区～
期 日	実施)
場 所	1 平成27年12月5日:青森市立浜田小学校(児童12名+保護者12名)
参加者	
活動内容	1 青森市立浜田小学校:「学校訪問型料理教室」 (社)青森県栄養士会から講師を招き、①アサリとエビのチャウダー、②ホタテサラダ、③フルーツポンチ、④パン を調理
事業名 ③	おさかな食育クッキング～弘前地区～
期 日	1 第59回 平成27年 5月30日:東北女子大学 大人34名、子ども7名
場 所	2 第60回 平成27年 7月25日:東北女子大学 大人33名、子ども6名
参加者	3 第61回 平成27年 9月12日:東北女子大学 大人32名、子ども6名 4 第62回 平成27年11月21日:東北女子大学 大人36名、子ども5名
活動内容	1 東北女子大学が講師となり、「きのこたっぷりしじみのチーズリゾット」、「初鰹とりんご酢のさっぱりサラダ」、「ベビーホタテとしいたけのこんがりマヨネーズ焼き」を調理。参加料:一人500円 2 東北女子大学が講師となり、「あじの干物で冷汁そうめん」、「ういの茶わん蒸し」、「ひらめの野菜巻き二種」を調理。参加料:一人500円 3 東北女子大学が講師となり、「いかメンチバーガー」、「鮭のミネストローネ」、「さんまのさっぱりサラダ」を調理。参加料:一人500円 4 東北女子大学が講師となり、「さばのソテー アップルジンジャーソース」、「白子のクリーム煮」、「タコときのこの和風アヒージョ」を調理。 参加料:一人500円
事業名 ④	施設見学会「魚市場を見に行こう」 ～五所川原地区～
期 日	平成27年9月26日
場 所	丸中五所川原中央水産株式会社(卸売市場・会議室)
参加者	児童36名
活動内容	水産会社社員の説明により、市場の魚介類の競り売りの様子や、マグロ解体等を見学し、流通の仕組みや地元で水揚げされる旬の水産物について学習をする。また、地域市場の現状を知ってもらう。 市場で販売されている旬の魚等の朝食をとりながら、食事のマナーについても勉強。

22 公益社団法人 青森県青果物価格安定基金協会

事業名	青森りんご出前授業
期 日	平成27年11～12月
場 所	県内小学校22校
活動内容・ 参加者等	小学児童を対象に、りんごの栄養、機能性成分、摂取目安量等の情報提供を通じ、県産りんご等の摂取促進を図るため、県りんご果樹課と連携して実施した。

23 一般社団法人 青森県りんご対策協議会

事業名	若年層を対象とした消費宣伝対策事業、 学校等での青森りんご活用アイデア募集
期 日	平成27年9月～平成28年3月(一部実施中)
場 所	新潟県、静岡県、北陸地区、京都府、滋賀県、兵庫県、中国地区、四国地区、九州地区
活動内容・ 参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・全国各地の幼稚園～小学校児童を対象とした食育授業等のイベントを開催し、食育用紙芝居を活用しながら食育活動を実施している。 (本会所有紙芝居を各地区に貸出しているほか、本会ホームページ上において、セルフ付きデジタル紙芝居を配信している) ・全国の幼稚園、学校(小、中、高等学校、大学、専門学校等)から青森りんご活用方法を本会ホームページ上において募集、優れた活用アイデアの提案校に対し青森りんごを提供。 (愛知県豊橋市立富士見小学校 全校りんご皮むき大会への協賛など) ・小学校学習用下敷50,000枚、消しゴム30,000個、定規30,000枚を作製し、全国各地の青果会社を通じて小学校等に配布し、青森りんごの学習用として活用。 ・近年果実離れが著しい若年層への青森りんごの普及及び消費拡大のため、全国各地の小学校、幼稚園、保育園へ学習用、給食用として青森りんごを提供。 ・青森県農林水産部りんご果樹課が実施する小学校での出前授業にミスりんごが参加し、青森りんごの健康への効果等を説明。

24 公益財団法人 青森県りんご協会

事業名①	黄色りんごレベルアップ緊急対策事業 黄色りんごの良さ発見プロジェクト
期 日	平成27年10月17日
場 所	星野リゾート青森屋 宿泊客約100名
活動内容・ 参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・関東関西からの観光客を対象にホテルとタイアップしたイベントを開催 ・ホテルのイベント時間に併せて黄色りんごPRタイムを開催。ミスりんごから台湾輸出が好調な黄色りんごの魅力を説明し、黄色りんごキャラクター「黄りんちゃん」とともに県産りんごを紹介。 ・りんごの品種、栽培管理、機能性、黄色りんごの魅力などを紹介するパネルを作成してホテル内に展示。 ・宿泊者への料理用、宣伝用に黄色りんご「トキ」を提供
事業名②	黄色りんごレベルアップ緊急対策事業 黄色りんご食育授業
期 日	平成27年10月27日、10月29日、10月30日
場 所	弘前市立 桔梗野小学校 51名(2クラス) 全校生徒311名 堀越小学校 79名(3クラス) 436名 城東小学校 40名(1クラス) 310名
活動内容・ 参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の果物離れが進むなか、小学校の学習を通じてりんごの魅力を伝え、消費拡大に繋げることを目的に実施。 ・弘前市内小学校3校にて3年生を対象にりんごの栽培法や黄色りんごの魅力などについて生産者視点で食育授業を開催。 ・黄色りんごの美味しさを知ってもらうために「トキ」を学習用、給食用(全校生徒)に提供。また、学習用にりんご対策協議会作成の下敷き、消しゴム、定規も配付。
取組の具体的なこと(他団体との連携など)	<ul style="list-style-type: none"> ・提供した「トキ」は、育成地である五所川原市ごしょつがる農協から購入。 ・学習用の下敷き他はりんご対策協議会から提供。 ・生産者目線で栽培管理やりんごの魅力などを説明。

25 青森県漁業協同組合連合会

活 動 内 容	
1 青森県産の鮮魚海藻類の品質、衛生管理面の向上に努める。 2 適正な産地表示にもこれまで以上に取り組み、消費者との信頼関係を構築する。 3 青森ほたてのPRと、消費拡大を図るための宣伝活動を継続的に実施する。 4 青森ほたての生産情報、料理等のDVDを製作し、各拠点での放映のほか、貸出等を行い、普及啓発を行っていく。 5 ホームページでの「青森のお魚」「お魚クイズ・ことわざ・漢字」や「ネット販売」により、魚への知識向上と消費者への魚食普及を図る。	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	漁協、関係団体と連携を密にし、本県水産物のさらなる普及を図る。

26 青森県漁協女性組織協議会

活 動 内 容	
各地の漁協女性部の活動を支援。 1 部員を対象とした活動への支援 (1) 地元で獲れる多種多様な魚の料理教室(郷土料理の伝承) (2) 子どもの成長を願う行事での料理教室(伝統料理の伝承) 2 学校を対象とした活動への支援 小学校、中学校、高等学校での料理教室(魚離れ対策、魚の料理法の普及) 3 一般県民を対象とした活動への支援 各イベントに出店参加して、加工品の販売、魚食普及PR	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	地産地消、魚離れ対策、一次二次加工による付加価値をつける魚の料理法、伝統料理、郷土料理の伝承。 今後は保健所とも連携したい。

27 公益社団法人 青森県物産振興協会

事業名	「青森の食の魅力」を発信する青森県物産展等の開催
期 日	平成27年4月～平成28年3月
場 所	県内外の百貨店、量販店、当協会直営催事スペース(新青森駅内)、産業会館
活動内容・参加者等	本県が誇る安全・安心な農林水産物及びその加工品を県内外の消費者に広く紹介するために、物産催事や大農林水産祭を開催し、「青森の食の魅力」を発信した。

28 株式会社中三

事業名 ①	あおもり健康食生活応援コーナー
期 日	常時
場 所	(株)中三 青森店 B2
活動内容・参加者等	短命県を返上できるよう、お勧めの加工食品、生活グッズ等を提案しております。
事業名 ②	あおもり健康食生活応援コーナー
期 日	常時
場 所	(株)中三 弘前店 B1
活動内容・参加者等	短命県を返上できるよう、お勧めの加工食品、生活グッズ等を提案しております。

29 株式会社さくら野百貨店

事業名 ①	シニア野菜ソムリエの「野菜・食べくらべ教室」
期 日	毎月青森店にて1回開催
場 所	さくら野青森店
活動内容・参加者等	青森店の顧客を対象(20～40名)に、旬の野菜・果物の食べくらべや保存方法、調理方法を紹介し、野菜・果物の魅力を多くの方へ広げる活動を実施
事業名 ②	シニア野菜ソムリエの「野菜・食べくらべ教室」(外部への取組として)
期 日	毎月1回
場 所	企業セミナー
活動内容・参加者等	各企業の顧客を対象(55名)に旬の野菜・果物の食べくらべや保存方法、調理方法を紹介し、野菜・果物の魅力を多くの方へ広げる活動を実施
取組の具体的な手法や特徴的なこと	地方の産地・取引先等からの協力もいただき実施
備 考	平成28年度も実施予定

30 株式会社ユニバース

活 動 内 容	
1 子どもが作る「お弁当の日」開催 2 店内にて「だし活」PR・試食販売 3 食育料理教室の開催(2回) (内1回は減塩・適塩料理教室) 4 親子大豆種まき・収穫体験開催、嶽きみ収穫体験開催 5 お茶セミナーの開催(1回) 6 毎月「おいしい・ヘルシー簡単食育レシピパンフレット」(厳選6品掲載)を制作し、全店にて配布 7 「食育&健康 もっと野菜を食べよう」をPR 8 チラシ上で、「減塩・低カロリー・低脂肪特集」を実施(月1回) 9 地産地消の取り組み:県産品フェアを実施 10 食品残渣の堆肥化による野菜(エコごぼう)の販売(53店舗)	
事業名 ①	「子どもが作るお弁当の日」開催
期 日	平成27年11月18日
場 所	青森県弘前市立城西小学校
活動内容・参加者等	六学年47名の児童を対象に、お弁当作りのすべてを子ども自身が行う「お弁当の日」を開催。”食”について学び感謝の心を育む機会になりました。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	小学校へ食材提供 開催風景・お弁当画像を掲載したパンフレット制作、ポスター掲示(全店にて)
事業名 ②	減塩・適塩 料理教室の開催
期 日	平成27年7月15日
場 所	八戸市
取組の具体的な手法や特徴的なこと	20名様が参加。 食品メーカー様とタイアップして開催。減塩・適塩を意識した調理方法を学び、プロジェクトを使用した食育・健康についての勉強会も開催しました。

事業名 ③	「親子大豆種まき・収穫体験」、「嶽きみ収穫体験」の開催
期 日	大豆種まき:平成27年5月31日、収穫:9月13日、嶽きみ収穫:8月30日
場 所	大豆体験:七戸町、嶽きみ体験:弘前市の岩木山麓
活動内容・参加者等	大豆体験:5月農家の畑を一部借りて大豆の種まきを行い9月成長した枝豆を収穫。(17組48名様)収穫後は枝豆の試食や紙芝居で食育について楽しく学びました。 嶽きみ体験:実際に収穫し食べて収穫の魅力を味わいました。(親子25組74名様)
事業名 ④	「食育&健康 もっと野菜をたべよう」をテーマにPOP・チラシPR掲載
期 日	毎月実施(チラシ掲載は1回/月)
場 所	ユニバース全店、全店チラシ
活動内容・参加者等	「食育&健康 もっと野菜を食べよう」をテーマに店内でPOP活用やチラシ表示することで食育活動の啓蒙を実施しました。
事業名 ⑤	「おいしい・ヘルシー簡単食育レシピパンフレット」の制作・配布
期 日	毎月発行
場 所	ユニバース全店
活動内容・参加者等	管理栄養士野呂浩子先生監修によるパンフレットレシピに、減塩調理・丈夫な体作りのできるバランスの良いメニュー提案など啓蒙活動を掲載しています。

31 株式会社マエダ

事業名 ①	タラを喰らう会
期 日	平成27年1月31日
場 所	マエダ本店
活動内容・参加者等	脇野沢名産のタラを脇野沢婦人会の方々が調理し、提供。こっこ汁、とも和え、こあえ等、地元で親しまれているタラ料理を食べていただいた。51名参加
事業名 ②	山菜を喰らう会
期 日	平成27年5月16日
場 所	むつ市薬研
活動内容・参加者等	地元のガイドの方と供に山菜の収穫体験。収穫後は山菜料理を食べて頂き、地元の食材の魅力を再発見してもらおう。15名参加
事業名 ④	きのこを喰らう会
期 日	平成27年10月4日
場 所	むつ市薬研
活動内容・参加者等	むつきのこ会の方のガイドで薬研地区できのこの収穫体験。収穫後はきのこ料理を食べて頂く。14名参加
事業名 ⑤	下北地域健康アップフォーラム
期 日	平成27年10月18日
場 所	むつグランドホテル
活動内容・参加者等	「できるだし」3品の出張販売 食命人弁当(イベント試食用)の製造
事業名 ⑥	だし活サロン「坂本先生のだし料理教室」
期 日	平成27年11月26日
場 所	下北文化会館調理室
活動内容・参加者等	県総合販売戦略課の企画に店での募集、受付に協力

事業名 ⑦	「むつ市のうまいは日本一」セールの開催
期 日	平成27年8月29日、30日・11月28日、29日
場 所	マエダ本店(8月)、マエダガーラモール店(11月)
活動内容・参加者等	むつ市の特産品を催事場に集め、試食・実演販売の実施。 むつ市キャラクター「ムチュラン」も登場。むつ市よりハッピー、のぼり等協力いただきPRを行った。
事業名 ⑧	地場商品コーナーの展開
期 日	通年
場 所	各店
活動内容・参加者等	「地産地消」を目的に地場野菜を中心に販売。 全店に販売場所を常設。専任の仕入担当者をおき、野菜以外にも地元加工品を品揃えし、コーナーの充実を行った。
事業名 ⑨	県産品愛用キャンペーンに合わせた県産品フェアの開催
期 日	平成27年9月～11月
場 所	マエダガーラモール店他
活動内容・参加者等	ガーラモール店へ知事に来て頂き、県産品をお客様にアピール。 各店では県産品愛用応援キャンペーンの応募企画。 マエダでは約3千通の応募。
事業名 ⑩	お弁当の日応援
期 日	平成27年11月2日
場 所	むつ市立第二田名部小学校 マエダ本店
活動内容・参加者等	小学校で実施しているお弁当の日への協力 1 お弁当の日に向けた調理実習への卵とウィナーのプレゼント 2 お弁当の日に合わせて、食材を購入するお客様向けに「お弁当材料」がわかりやすくなるよう売り場表示を工夫 3 お弁当の日当日の小学校での写真撮影とその写真をマエダ本店で展示
事業名 ⑪	お客様向け料理教室の開催
期 日	通年
場 所	青森市、むつ市
活動内容・参加者等	食品メーカー様と協力し、現在販売している商品を中心に料理教室を開催。親子対象の企画もあり。 1回で15～20名の参加
事業名 ⑫	あおもり食命人事業
期 日	通年
場 所	県内各店舗
活動内容・参加者等	穀類を主食に、野菜・魚介類・大豆製品・海藻類をバランス良くとれるよう「まごわやさしい」をキーワードにあおもり食命人弁当の販売、天然だしを使用した手作り惣菜の販売をしています。

32 株式会社イトーヨーカ堂 五所川原店

事業名	おみやげコーナー展開
期 日	平成27年12月25日～平成28年1月4日
場 所	イトーヨーカ堂五所川原店 催事場
活動内容・参加者等	帰省中のお客様に対して、県産品のおみやげコーナーを展開 五所川原市から展示用として「ミニ立佞武多」を展示し、五所川原市らしさをアピール

33 イオンリテール株式会社 イオン青森店

活 動 内 容	
<p>昨年度に引き続き、事業を実施していく。</p> <p>1 イオンホームページで「Let's食育!」を掲載(URL http://www.aeonretail.jp/kodawari/shokuiku/)。</p> <p>2 下期「青森めじゃー市」を開催し、地産地消と食育の推進を実施。</p> <p>3 毎月15日は「じもの日」と銘打って、青森の県産品の「安全・安心」をチラシ訴求するとともに、試食販売を実施。</p>	
事業名 ①	イオン青森チアーズクラブによる陸奥湾のホタテと環境について
期 日	平成27年6月28日
場 所	平内町茂浦 国有林「社会貢献の森」
活動内容・参加者等	<p>おいしい陸奥湾のホタテが、海水の温度が上がって大量死しない為に植樹をしました。一見、植樹とホタテ、何の関係もないように感じますが、森が豊かになると海の中も豊かになり、陸奥湾はこれに最適な環境とということを学習しました。植樹のあとに、タウリンタップリのホタテ汁をごちそうになり、あまりのおいしさにおかわりをしました。</p> <p>参加者 チアーズクラブメンバー 3名 店舗コーディネーター 5名</p>

34 紅屋商事株式会社

事業名	食育コミュニケーション活動
期 日	毎月19日を含む週を食育週間として(8月、12月を除く)、その週の土曜日に食育大試食会を実施。(変動する場合あり)
場 所	カブセンター、ベニーマート全店(青森新町店は除く)
活動内容・参加者等	<p>1. 毎月19日を含む週を食育週間とし、その週の土曜日に大試食会を実施。 (①11時～、②15時～)</p> <p>参加者:食育コミュニケーターの資格を持った従業員を中心とした店舗従業員 (日本食育コミュニケーション協会様より指導)</p> <p>2. 食育コミュニケーション活動の概要</p> <p>(1)毎月テーマを設け、そのテーマに沿った一汁三菜のメニュー提案により、豊かな「食」に対する啓蒙活動の実施。</p> <p>(2)食育活動における一汁三菜やレシピ提案を実施する際は、食事バランスガイドや食物アレルギー原因物質の提示を行い、それについての説明を実施。</p> <p>(3)使用する食材は極力、その時の旬の生鮮食材、県産食材(ない場合は近県産または国産)を使用。</p> <p>(4)調味料は合成添加物・合成着色料無添加のものなどをなるべく使用する。</p> <p>(5)減塩・野菜摂取向上の取組</p> <p>提案メニューに使用する食塩量をガラス瓶などに入れて見える化する。できるだけの使用手法の紹介、など。</p> <p>野菜摂取向上として、小鉢一つで70gの野菜摂取の見える化、生野菜と茹で野菜350gの展示、など</p> <p>3. 食に関する知育活動</p> <p>(1)あおもり食育サポーター様から食育グッズをお借りし、それを使用した知育活動の実施。</p> <p>(2)店舗独自で手作りの知育グッズによる知育活動の実施(例、野菜350gってどれくらい?、豆掴みゲーム、食育塗り絵、など)。</p>

- (3) メーカー様ご協力の元、店舗での食育教室実施。
 (例、マヨネーズ教室、きのこについて、トマトの栄養について、など)
- (4) 店舗における5ADay教室の実施。
 地域の小学生(2～3年生)を店舗に招き、5ADay協会の講師指導の元5ADay教室を実施。
- (5) 校外学習でのお仕事見学ツアー実施。
 地域の小学校の校外学習の一環で、職場見学・パン作り体験の実施。
- 4. 社外機関との連携。**
- (1) 食育の日の食生活改善推進員様とのコラボレーション(通年)
- (2) 東北女子短期大学様とのコラボレーション
- (3) 八戸学院短期大学様のコラボレーション
- (4) メーカー様による料理教室
 月一回程度、各メーカー様により料理教室を店舗の休憩コーナーにて開催(例、ケチャップで減塩、スパイスで減塩、だしで減塩)
- 5. 地産地消の取組**
- (1) 青森県産品愛用応援キャンペーンとのコラボレーション(9月)
 全店で「地産地消」をテーマに、食育活動に絡めて県産食材・県産商品の推奨販売を実施。
- (2) カブセンター大野店に三村知事をお迎えし、県産品のPR活動を実施(9月)
- 6. 県の事業との連携**
- (1) 「野菜で健康大作戦」
 野菜を食べようキャンペーンの活動。
 毎回の食育活動時に野菜摂取向上の呼びかけを行う。
- (2) 「だし活」事業との連携
 「できるだし」発売記念PRイベントの開催(3月、7月)
 だし活×メーカー様受験生応援大試食会(2月)
 「できるだし」新商品PRイベント(2月予定)
- (3) 「食命人」事業
 協力店舗として広報に努める。

取組の具体的な手法や特徴的なこと

1. 展開方法においては昨年と同様。
2. 今期は年間を通して「減塩(適塩)」を提案し続けた。
- (1) 青森県の平均寿命が最下位だということをお知らせし、その対策として減塩(適塩)についてのPOPやコミュニケーションを実施。
- (2) メニュー提案による具体的な減塩方法の提案
 カリウムを多く含む野菜を摂取することで減塩につながるということを提案し、野菜摂取を啓蒙。
 だしを上手に活用することで塩分を控えてもしっかりとした味付けができることを、体験を通じて啓蒙。
- (3) 減塩アンケートの実施
 10月の食育活動時に減塩アンケートを実施。
- ① 平均寿命最下位の認識
- ② 減塩に対する意識調査
- ③ 当店の減塩提案の認識についての調査
- ① 減塩メニューについての感想

今後取り組みたい事項	<p>1. 社外団体との連携強化 (詳しくは昨年と同様)</p> <p>2. 減塩(適塩)提案に加え、和食についての啓蒙</p> <p>3. あおもり食命人事業に加え、県の各取組との連携強化</p> <p>4. 月一回のイベントから毎日提案型への体制づくり</p>
備考	<p>1. 各種表彰について</p> <p>(1) 日本食育コミュニケーター活動発表全国大会において、「地域密着大賞」を3年連続で受賞(11月)</p> <p>2. 今後の活動</p> <p>今期は減塩・野菜摂取向上の取組をさらに深め、県の取組と歩調を合わせ「野菜摂取向上」「だし活」の考えを取り込んでの平均寿命延伸の活動を展開した。</p> <p>食生活改善推進員の方々との共同提案が次第に軌道にのり、青森地区、八戸地区での活動を継続的に展開できるようになった。</p> <p>今後は活動を発展させ、学生プロデュースの惣菜等の開発を行い、相互の取組の発展を期待する。</p> <p>今後は、自社の取組や関係各団体様との共同した幅広い活動の広報が必要かと思われる。</p> <p>したがって、メディアとの連携も図りながら、県民への認知向上を目指していきたい。</p>

35 一般社団法人 青森県歯科医師会

事業名	健康あおもり21 8020 健康社会フォーラム(県民公開講座)
期日	平成27年11月7日(土)
場所	むつ市「むつグランドホテル」
活動内容・参加者等	嚥下障害、口腔機能向上についての講演
取組の具体的な手法や特徴的なこと	嚥下障害の講演と口腔機能向上のための運動をレクチャーした。
備考	

36 公益社団法人 青森県看護協会

事業名 ①	看護の日・看護週間事業
期 日	平成27年5月9日～5月16日
場 所	県内6支部及び会員所属病院
活動内容・参加者等	・地域における一般県民を対象に生活習慣病予防と食育推進に係る活動の実施
事業名 ②	「まちの保健室」定期的健康相談事業
期 日	平成27年4月～28年3月
場 所	県内4か所
活動内容・参加者等	青森市道の駅「ゆ～さ浅虫」(35日間・PRイベント5月3日) 青森市「サンロード青森」(11/1～毎週日曜日・PRイベント10月31日) 八戸市「はっち」(51日間・PRイベント8月21日) 鱒ヶ沢町海の駅「わんど」(30日間・PRイベント4月24日)
事業名 ③	各市町村における「健康まつり」参画活動
期 日	平成27年度
場 所	県内6支部「健康まつり」開催地
活動内容・参加者等	健康まつりに参加した地域の一般市民を対象に健康相談に係る食育推進活動の実施
取組の具体的な手法や特徴的なこと	看護協会会員が県内各地で県民の健康づくりのための健康相談活動を継続して展開している。
備 考	

37 公益社団法人 青森県栄養士会

事業名 ①	「無料栄養相談」あおもり栄養ケア・ステーション 1
期 日	平成27年度
活動内容・参加者等	県民を対象に、無料で栄養相談や食育相談を実施。 電話 毎週火曜日10時～15時(出張相談 毎月第2火曜日13時～15時含) HP 随時
備 考	平成28年度も実施予定
事業名 ②	「親子料理学校」あおもり栄養ケア・ステーション
期 日	平成27年12月5日
場 所	浜田小学校
活動内容・参加者等	青森市中央卸売市場からの依頼で、県産の食材を使った調理実習。
事業名 ③	減塩プロジェクト 「親子料理教室」
期 日	平成27年11月1日
場 所	弘前市社会福祉センター
活動内容・参加者等	栄養士会の短命県返上の事業「減塩プロジェクト」で乳和食の献立を使つての親子の料理教室。他に、上十三地区、五所川原地区で開催された。
事業名 ④	健康啓発等事業 1 (八戸市環境・健康フェスタ2015)
期 日	平成27年10月4日
場 所	八戸市公会堂
活動内容・参加者等	減塩の大切さ、0.7%みそ汁の試飲465名、野菜摂取、適正体重についての栄養相談(200名)を行った。
事業名 ⑤	健康啓発等事業 2 (食と健康展)

期 日	平成27年10月18日
場 所	むつグランドホテル1階
活動内容・ 参加者等	<p>むつ市で行われる健康アップフォーラムに協力、食と健康コーナーで、生活習慣病についての正しい知識と、予防する食事のポイントを展示。減塩みそ汁の試飲など、減塩をメインテーマに食事指導。</p> <p>そのほか、カルシウムの多い食品、野菜の摂り方、高齢者の食事等の栄養相談。アンケートの実施など。</p> <p>150名</p>
事業名 ⑥	健康啓発等事業 3 (十和田南公民館まつり)
期 日	平成27年10月25日
場 所	十和田市南公民館
活動内容・ 参加者等	<p>「生活習慣病予防」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養相談、パネル展示、「健康あおもり21」アンケート、「減塩エーヨー！！」アンケートの実施 ・野菜350g、だしのチカラ ・減塩味噌汁試飲 <p>参加者数 150名</p>
事業名 ⑦	健康啓発等事業 4 (健康づくり市民のつどい)
期 日	平成27年11月21、22日
場 所	スポカルイン黒石
活動内容・ 参加者等	<p>「栄養相談コーナー」(2日間で350名)</p> <p>健康あおもり21の推進</p> <p>減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、栄養クイズ、アンケート</p> <p>低カロリー嗜好飲料の紹介</p>
事業名 ⑧	健康啓発等事業 5
期 日	平成27年11月14、15日
場 所	鶴田町、鶴遊館
活動内容・ 参加者等	0.7%みそ汁の試飲
事業名 ⑨	健康啓発等事業 6 (おいらせ町いきいき健康まつり)
期 日	平成27年10月4日
場 所	おいらせ町みなくる館
活動内容・ 参加者等	<p>「食育について」</p> <p>栄養相談、健康食育体験コーナー、(減塩みそ汁、アンケート、食育クイズ) 、生活習慣病予防(パネル展示、減塩のぼり) 、塩分フードモデル展示など</p> <p>参加者200名</p>
事業名 ⑩	健康啓発等事業 7 (あおもり市民健康アップフォーラム)
期 日	平成27年11月13日
場 所	リンクステーションホール青森
活動内容・ 参加者等	栄養相談、減塩味噌汁体験212名
事業名 ⑪	弘前市民の健康まつり
期 日	平成27年7月11、12日
場 所	弘前市総合保健センター
活動内容・ 参加者等	<p>「栄養相談コーナー」700名</p> <p>健康あおもり21の推進</p> <p>減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩みそ汁試飲(682人)、栄養相談(44件)</p>

事業名 ⑫	「みんなの食育アカデミー」 あおもり栄養ケア・ステーション
期 日	平成27年4月1日～27年12月10日
場 所	県内35カ所
活動内容・参加者等	健康寿命アップのための健康を目指した食事やバランス食等の講演ビデオなど
取組の具体的な手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	大塚製薬との委託契約
事業名 ⑬	「レッツスタート・ウォーキング」 あおもり栄養ケア・ステーション
期 日	平成27年度10月27日～11月5日
場 所	青森市、弘前市、五所川原市、むつ市、八戸市
活動内容・参加者等	県委託事業「レッツスタート ウォーキング」の参加者対象に栄養の講話 内容：生活習慣病予防のための食生活、お酒との上手な付き合い方等 バランスの良い食事が運動する場合にも効果がある。
取組の具体的な手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	フィットネスクラブ ウィングより依頼
事業名 ⑭	「アスリートプログラム」 あおもり栄養ケア・ステーション
期 日	平成27年度
場 所	マエダアリーナ(青森市)
活動内容・参加者等	中・高校・一般のスポーツ選手を対象に食事栄養診断と栄養相談
取組の具体的な手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	青森県スポーツ科学センターとの委託事業

38 社会福祉法人 青森県社会福祉協議会

活 動 内 容	
1 福祉専門職に対する研修会等において、快適な食生活の方法、栄養管理等についての情報提供を行うとともに、食育の啓発を実施している。 2 住民向けの介護講座等にて、家庭介護の充実を図る一方で、食事の楽しさ・大切さを伝えることで食育の啓発を図っている。	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	・福祉専門職向けの研修事業に食育の視点を加える。 ・家庭の介護力の向上の一助として、自助具等の普及を図るとともに嚙下に関する研修等を実施し、食事の楽しさ・大切さを伝える。
今後取り組みたい事項	・市町村の食生活改善推進員の中には、ほのぼのの交流協力員を兼務している方もおられることから、保健指導等との連携のもと、きめ細やかな配食サービス等を普及させる必要がある。

39 一般社団法人 青森県保育連合会

事業名 ①	給食部会の開催
期 日	平成27年度:4回開催
場 所	青森市 県民福祉プラザ
活動内容・参加者等	部会員 18名 ・各支部から選出された部会員で「給食部会」を設置。 日常の給食業務等の課題について話し合う
事業名 ②	青森県保育研究大会の開催
期 日	平成27年6月15日
場 所	青森市 ホテル青森
活動内容・参加者等	参加者:272名 研究テーマ 「子どもの未来をつくるには」～家庭とともに食について考える～
事業名 ③	給食研修会の実施
期 日	平成27年11月12日
場 所	青森市 ホテル青森
活動内容・参加者等	参加者:268名 講演 「子どもの心と身体を育む食育」 講師 聖徳大学 短期大学部 保育科 講師 小野 友紀 氏 講演 「食事摂取基準の理解と給食への活用」 講師 青森県健康福祉部 がん・生活習慣病対策課 健やか力推進グループ 主幹 中村 広美 氏
取組の具体的な手法や特徴的なこと	「保育所発！子ども元気スリムプラン事業」において、身長・体重入力成長曲線を活用し肥満防止の取組みや食育の改善等の指導に繋げている。 ※2か年事業の2年目
備 考	

40 学校法人 青森田中学園 青森中央短期大学

1 公開講座における食育活動の実践

事業名 ①	心を繋ぐおばあちゃんの郷土料理 Vol.2
期 日	平成27年10月10日
場 所	本学 調理実習室
活動内容・参加者等	一般の方を対象に昔から伝えられてきた青森県の郷土料理の調理実習を実施した。
事業名 ②	クリスマス親子クッキング
期 日	平成27年12月5日
場 所	本学 調理実習室
活動内容・参加者等	園児・児童とその保護者を対象に、クリスマスをテーマとした親子で楽しめる内容の調理実習を実施した。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	学科の特性を活かし、参加者が楽しみながら調理体験を行い、知識や技術の習得とともに講座を通して食への興味・関心をもつきっかけになるような内容としている。
備 考	どちらの講座も大変好評であった。来年度以降も継続して活動を実施していきたい。

2 教員が依頼された出前講座など研修会での食育の普及活動を実施

事業名 ①	食と健康～かしこく食べて健康に～	
期 日	平成27年11月18日	
場 所	大野市民センター	
活動内容・参加者等	一般市民を対象に五大栄養素を中心に望ましい食生活を送るための工夫について講話を行った。	
事業名 ②	青森県民のための食育	
期 日	平成27年11月22日	
場 所	県民福祉プラザ	
活動内容・参加者等	青森県の平均寿命と食生活の関係や青森県民の健康増進のためにはどうしたらよいかなどの講話を行った。	
事業名 ③	体内時計と健康	
期 日	平成27年11月30日	
場 所	青森県北部地区農村環境改善センター	
活動内容・参加者等	一般の方を対象にどうして規則正しい生活が健康によいのか、どのタイミングでどのくらい食べたらいのかについて小学生の保護者対象に講話を行った。	
事業名 ④	スポーツと栄養	
期 日	平成27年12月5日	
場 所	むつ来さまい館	
活動内容・参加者等	市民や食育指導者を対象にスポーツをするうえで特に気をつけなければいけない栄養素や食べるタイミング、水分補給、スポーツ貧血を中心に講話を行った。	
事業名 ⑤	カラダは食べ物でできている～食習慣を見直し、食べて改善しよう～	
期 日	①平成28年1月28日 ②平成28年2月16日	
場 所	①青森県立第二高等養護学校 ②青森中央市民センター	
活動内容・参加者等	寄宿舎で生活する学生や一般市民に対して五大栄養素を中心に望ましい食生活を送るための工夫について講話を行った。	
事業名 ⑥	下北子どもヘルスアップ事業「生活改善教室」	
期 日	①平成27年 6月30日 奥戸中学校	
場 所	②平成27年 6月30日 東通小学校	
	③平成27年 7月 1日 福浦小学校	
	④平成27年 7月 1日 関根小学校	
	⑤平成27年 7月 7日 脇野沢小学校	
	⑥平成27年 7月10日 脇野沢中学校	
	⑦平成27年 7月10日 佐井小学校	
	⑧平成27年 9月29日 奥戸小学校	
	⑨平成27年10月17日 第二田名部小学校	
	⑩平成27年12月 1日 むつ中学校	
	⑪平成27年12月 1日 二枚橋小学校	
	⑫平成27年12月 4日 大間小学校	
	⑬平成27年12月 5日 風間浦中学校	
	⑭平成27年12月 9日 東通中学校	
活動内容・参加者等	児童・生徒及びその保護者に対して望ましい食習慣や食生活について講話を行った。	
取組の具体的な手法や特徴的なこと	学科の専門性を活かしながら、参加者が興味を引くテーマを設定し「食」について学ぶことが出来る内容としている。	
備 考		

3 平成27年度あおもり食育サポーター促進事業（県委託事業）

事業名 ①	あおもり食育サポーター事務局による食育活動
申込先別 依頼件数	幼稚園・保育園・子育て支援センター 124件 小学校・中学校・高校 25件 一般・その他 24件 合計 173件 (平成28年1月28日現在依頼分)
活動内容	あおもり食育コンシェルジュ等が、幼児から高齢者まで幅広い世代を対象に青森県全域で食育活動を行った。
事業名 ②	平成27年度あおもり食育サポーターステップアップ研修会
期 日	①平成27年7月28日 ②平成27年7月29日
場 所	①アピオあおもり ②八戸市立白山台公民館
活動内容・ 参加者等	JSIA寿司インストラクター協会認定マスター講師飾馬喜太郎氏による飾り巻きずし講座。
事業名 ③	平成27年度あおもり食育サポーター研修会
期 日	①平成28年2月28日 ②平成28年3月6日
場 所	①友の会福祉会館中ホール ②青森県総合社会教育センター
活動内容・ 参加者等	管理栄養士成田崇伸氏による親子で楽しむ食育に関する講演会を開催予定。

4 その他

事業名 ①	翔麗祭
期 日	平成27年9月19～20日
場 所	青森中央短期大学 1号館1階
活動内容・ 参加者等	本学学園祭において食育教材の展示や食育クイズなどを実施した。
事業名 ②	産学官共同による「学生による地産地消弁当の考案」
期 日	平成27年5月～9月上旬
場 所	青森県内
活動内容・ 参加者等	本学学生が青森県産品を使用した地産地消弁当を考案し、その販売を企業が行った。
事業名 ③	あおもり野菜で健康まつり
期 日	平成27年9月19日～23日
場 所	アスパム
活動内容・ 参加者等	野菜の摂取量を増やすためのポスター展示
事業名 ④	だし活PRダンスお披露目会
期 日	平成27年7月5日
場 所	青森中央短期大学
活動内容・ 参加者等	食物栄養学科学生による食育講座「だし活しよう！」の開催と、幼児保育学科の学生が創作した「できるだし」ダンスの披露。

41 あおもり食育検定委員会(事務局:青森中央短期大学)

事業名①	平成27年度あおもり食育検定
期日	平成27年6月14日(日)
場所	青森中央短期大学(青森市)、東北女子大学(弘前市)、 八戸学院短期大学(八戸市)、東北女子短期大学(弘前市)、 青森県立十和田西高等学校(十和田市)、青森県立八戸西高等学校(八戸市)、 カブ・シンフォニープラザ店(八戸市)
活動内容・参加者等	会場:県内3会場(主会場)及び4団体会場(準会場)で実施した。 状況:308名が受検し、246名が合格した。受検者数及び「あおもり食育サポーター」への登録希望者が昨年度より増加した。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	同一団体で10名以上の受検者に対しては、団体受検(準会場)を推奨している、高等学校及び小売業等で実績があった。
備考	平成28年度は主会場に「むつ会場」を追加し、4会場で実施する。「あおもり食育検定」のホームページ開設にともない、より県民の皆様へ情報発信ができるようになった。

42 株式会社 東奥日報社

活動内容
食と健康は重要なテーマであり、これまでも「短命県」の課題を探る連載や県内の食の魅力を紹介する企画等を展開してきた。地元の報道機関として、ニュースを通し食育の推進に努めていきたい。

43 青森県農業会議

活動内容
1 市町村農業委員会への情報提供活動の実施。 2 全国農業会議所等との連携。